

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り ×

1月23日発行

Vol.388

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。

1/13 目

南相馬市HP

「みなみそうまとピックス」から

南相馬市成人式

南相馬市成人式が市民文化会館ゆめはっとで行われました。

市内で今年成人を迎えた510人のうち354人が出席し、未来の飛躍に向けて思いを新たにしました。



© City of Minamisoma

2ページをご覧ください。

目次

●「みなみそうまとピックス」から

・南相馬市成人式 ----- 2

●被災自治体News

南相馬市----- 3

浪江町 ----- 5

双葉町 ----- 6

●福島県復興公営住宅入居支援センター

・平成30年度第5回入居者募集の
募集結果 ----- 8

●新潟県

・東日本大震災に伴い
本県に避難されている世帯の
現状と今後の意向を
とりまとめました ----- 11

・自主避難者への
民間賃貸住宅の家賃補助を
3月末日で終了します ----- 13

●交流ルームひばり通信

・お年玉！！
幸藏さんからお米を頂戴しました
----- 4

・1月・2月の「ひばり」 ----- 14

1/13 目

南相馬市成人式

南相馬市成人式が市民文化会館ゆめはっとで行われました。

市内で今年成人を迎えた510人のうち354人が出席し、未来の飛躍に向けて思いを新たにしました。

新成人を代表して誓いの言葉を述べた佐藤亜梨沙さんは、小学校6年生の時に遭遇した東日本大震災と東京電力福島第一原発事故での経験を振り返り「いつかこのふるさと南相馬の将来を担う一人として、胸を張って活躍したい」と誓いました。

式場は、晴れ着に身を包み、故郷で喜怒哀楽を共にした仲間との再会を喜ぶ新成人の笑顔であふれていました。



© City of Minamisoma



南相馬市からのお知らせ

平成31年度（2019年度）市民各種健（検）診

1月21日HP更新

平成31年度各種健（検）診の申込書を、次のとおり1月15日に郵送しました。

申込書郵送先

- 住民基本台帳に登録されている住所
- 避難している方は、避難者情報に登録されている住所

対象者

平成31年度各種健（検）診対象者
※各種健（検）診により異なります。

- 男性
 - 40歳以上
 - 35歳～39歳の国民健康保険加入者
 - 女性
 - 20歳以上
- ※2020年3月31日時点の年齢

<南相馬市外に避難されている市民の方へ>

- 市外避難先で健（検）診を希望される方は、原則避難登録をしている住所地での受診が可能です。
- 全額自己負担で受診した方を対象に各種健（検）診の費用を助成します。詳細については、受診前にお問い合わせください。

提出期限

2月15日（金）

※期限の過ぎた場合、実施前であれば申し込みは可能です。
ただし、検診場所については希望に添えない場合があります。

提出方法

- 同封の返信用封筒に入れて投函
- 各保健（福祉）センターへ持参

<<ご注意>>

- がん検診は、加入している医療保険に関係なく対象年齢の方が受診できます。
なお、治療中や経過観察中の方は検診ではなく、主治医のもとで、診察してもらってください。
- 施設検診を希望する場合は、医療機関を必ず第2希望まで記入してください。
なお、希望した医療機関への申し込みが多数の場合、希望に添えない場合があります。

問い合わせ

健康福祉部 健康づくり課 健康推進係

TEL 0244-23-3680



みなみそうまチャンネル

南相馬市



電話でのお問合せ

TEL:0244-26-5663

(平日のみ 午前9時～午後5時)

今週の番組 60分 ※パソコン視聴

番組内容 [1/23～1/30]

1. オープニング&今週の番組 [2分]
2. 帰っただいよ、この町へ 小高ストア開所式 [10分]
3. 平成30年度 南相馬市金婚祝賀会 [10分]
4. 光り輝く冬の街へ 南相馬イルミネーション [8分]
5. 南相馬市議会議員所信表明～竹野光雄議員 [3分]
6. 南相馬市議会議員所信表明～小川尚一議員 [3分]
7. 南相馬市議会議員所信表明～渡部寛一議員 [3分]
8. 南相馬市議会議員所信表明～志賀稔宗議員 [3分]
9. 南相馬市議会議員所信表明～平田 武 議員 [3分]
10. 南相馬市議会議員所信表明～今村 裕 議員 [3分]
11. みちのくALERT2018 [5分]
12. 南相馬見聞録 ～相馬小高神社 [5分]
13. リクエストアワーのお知らせ [2分]



みゆーくん

交流ルームひばり通信

お年玉!! 幸藏さんからお米を頂戴しました

今年も、下田の渡邊幸藏さんからお年玉(お米)をいただきました。

昨年初めに頂戴したお米と同じく「1人に1袋」。

大きな大きなお年玉です。

受取期限 **2月3日(日)**

交流ルーム「ひばり」開設時間内

※休館日は、裏表紙のカレンダーで確認ください。

受取場所 交流ルーム「ひばり」

※お米は、ご家族1人につき1袋(5kg)です。

※期間内に受け取れない場合は、交流ルーム「ひばり」までご相談ください。

先週号と一緒に
お配りした引換券を
必ずご持参ください。

問い合わせ 交流ルーム「ひばり」 TEL 0256-33-8650



浪江町からのお知らせ

障害者控除対象者認定書の交付申請について

1月18日HP更新

確定申告において、障害者控除として所得税法上の障害者と同等と認定された要介護認定者の方がいる場合などについては、所得税控除の対象となります。

浪江町役場本庁舎・二本松事務所以外で申告する場合、「障害者控除対象者認定書」が必要となりますので、確定申告に必要な方は介護福祉課介護係までお問い合わせください。

※ 浪江町役場本庁舎・二本松事務所で申告する場合は必要ありません。

認定対象者

65歳以上の方で介護保険の要介護認定(要介護1から要介護5)を受けており、認定基準に該当する方は、確定申告での障害者控除または特別障害者控除の対象者となります。

※ 認定基準とは要介護認定に際し、町が収集した主治医意見書の認知症自立度および障害者自立度により区分されます。

■障害者控除対象者

要介護1～要介護5(認知症自立度IIa～Mまたは障害者自立度A1～C2)

■特別障害者控除対象者

要介護4～要介護5(認知症自立度IV、Mまたは障害者自立度B1～C2)

※1 所得控除対象年12月31日(対象者が年の途中で死亡した場合は、亡くなった日)時点での要介護状態区分の認定状況となります。

※2 どちらにも該当する方については特別障害者控除対象者となります。

控除額

	所得税	住民税
障害者	27万円	26万円
特別障害者	40万円	30万円

申請方法

電話などでお問い合わせいただいた方には、申請書を郵送します。

また、ホームページからダウンロードできます。

記入後、介護福祉課介護係へ郵送してください。

問い合わせ 介護福祉課 介護係

TEL 0240-34-0226



双葉町からのお知らせ

双葉町HP「ブログふたばのわ」から

双葉での復活を願って 双葉町ダルマ市

1月12日、13日の両日にわたり「双葉町ダルマ市」が開催されました。

双葉町ダルマ市は、毎年1月の第2土・日曜日に開催されていた江戸時代から伝わる新春の恒例行事。

震災前は双葉駅前の商店街をメインに地元産品や縁起物のダルマを売るたくさんの出店が並び、南北に別れ高さ3.3m、重さ700kgのダルマを引き合いその年の運勢を占う巨大ダルマ引きや、芸能保存団体による神楽の奉納など双葉町に一年のはじまりを告げる大切な行事でした。



2007年 双葉町ダルマ市の様子



2008年 双葉町ダルマ市の様子

東日本大震災とその後の福島第一原子力発電所の事故に伴う全町避難により、一時開催が危ぶまれましたが、町民の有志団体「夢ふたば人」の皆さんの奮闘により震災後も途切れることなく、避難先の一つであるいわき市南台仮設住宅で開催されてきました。

今年は町が町外拠点に位置付ける復興公営住宅勿来酒井団地の供用開始に伴い、場所を変えて開催。会場にはダルマの販売や飲食物を売るたくさんのブースが並び、その中央に特設ステージが設けられました。

2日間のイベントのオープニングを飾ったのは安全祈願祭と三字芸能保存会による奉納神楽。

約8年ぶりに活動を再開した三字芸能保存会による奉納神楽では、ダルマ市の成功を祈り優雅で力強い舞が披露され、訪れた方を魅了しました。

続く開会式では、夢ふたば人の中谷会長のあいさつ、伊澤史朗町長をはじめとする来賓から祝辞が述べられました。



開会式後には、毎年恒例の子ども樽神輿やLOVE FOR NIPPONによるステージイベントが行われ、その後、初日のメインイベント「巨大ダルマ引き」が行われました。

今年は南が勝つと「商売繁盛」北が勝つと「豊年満作」。

南北に分かれた多くの来場者が力強く綱を引き合い、2回勝負を終え1対1と決着はつかず勝負は3回目に突入しました。

結果は、一致団結し声をかけながら粘り強く綱を引いた南が勝利。

今年の双葉町は「商売繁盛」が約束されました。

次ページへ続きます 

双葉町HP「ブログふたばのわ」から



ダルマ市2日目。この日は3連休の中の日ということもあり、会場は早くから多くの来場者で賑わっていました。

この日は双葉町民俗芸能発表会からスタート。今年は「渋川芸能保存会」「前沢女宝財踊り保存会」「相馬流れ山踊り保存会」の3団体が出演し、それぞれが双葉町に伝わる伝統芸能を披露しました。

続いて第29回双葉町芸能発表会も行われ、5団体が日頃の練習の成果を披露しました。

発表会の最後は参加者を巻き込んだふたば音頭。会場に大きな踊りの輪ができました。

各団体の発表が終わるたびに会場からは大きな拍手が沸き起こり、中には発表の最中に客席で一緒に踊り出す方がいるほど、ステージ発表は大いに盛り上がりました。



ステージ発表の後には、毎年恒例の町消防団第二分団員によるダルマ神輿が行われました。さらし姿の団員の皆さんが、賽銭箱と太鼓、大きなダルマ神輿を担いで会場を練り歩き、来場者の家内安全・無病息災などを祈りました。

閉会式では夢ふたば人の中谷会長が「いつか双葉町で開催できる日までここでダルマ市をやり続けます」とあいさつし、万歳三唱で今年のダルマ市は幕を閉じました。

2日間ともに、双葉町民の方だけでなく、周辺に住むいわき市民など多くの方が足を運んだ今年のダルマ市。

「ふるさと双葉町を感じられる場になってほしい」と震災後から開催を続けてきた夢ふたば人の皆さんの思いが通じたのか、地域の垣根を超えて多くの方が双葉町に触れ、たくさんの笑顔が生まれました。

いつの日か、このたくさんの笑顔が双葉町で見られることを願っています。

双葉町復興支援員(ふたさば) 遠藤





平成30年度第5回 入居者募集の募集結果

1月7日から1月18日まで入居者の募集を行った、平成30年度第5回復興公営住宅入居者募集の団地ごとの応募状況をお知らせします。

また、抽選会を下記のとおり開催します。

【抽選会】

日時 2月5日（火）午前10時から

場所 福島県復興公営住宅入居支援センター
（福島県自治会館7階）

※抽選会への参加・不参加は、抽選結果に全く影響ありません。

お問い合わせ

福島県復興公営住宅入居支援センター

専用ダイヤル ☎024-522-3320

受付時間 8:30~17:15（土日、祝日を除く）

〒960-8043 福島県福島市中町8-2 福島県自治会館7階

所在地	団地名	住戸形態	住宅種別	間取り	募集戸数	応募数
福島市	笹谷	集合住宅	一般住宅	3LDK	2	1
			優先住宅	3LDK	1	1
	飯坂	集合住宅	一般住宅	3LDK	4	
			優先住宅	3LDK	1	
	北中央	集合住宅	一般住宅	3LDK	1	3
			優先住宅	3LDK	1	
	北沢又	集合住宅	優先住宅	2LDK	6	1
			一般住宅	3LDK	5	
			一般住宅	2LDK	1	1
			一般住宅	3LDK	6	4
	北沢又2	集合住宅	優先住宅	2LDK	6	
			優先住宅	3LDK	10	
優先住宅(車いす対応)			3LDK	2		
一般住宅			2LDK	7	2	
一般住宅	3LDK	28	2			
二本松市	根柄山 (ペット可)	2戸1棟(2階建)	一般住宅	3LDK	1	
	石倉	集合住宅	優先住宅	2LDK	4	
			優先住宅	3LDK	6	
			優先住宅(車いす対応)	3LDK	1	
			一般住宅	2LDK	1	
	一般住宅	3LDK	17	1		
	若宮	集合住宅	優先住宅	2LDK	2	
	表 (ペット可)	集合住宅	優先住宅	2LDK	2	
優先住宅			3LDK	3		
一般住宅			2LDK	4		
一般住宅	3LDK	3	1			
川俣町	壁沢 (ペット可)	2戸1棟(2階建)	一般住宅	2LDK	3	1
			一般住宅	3LDK	2	4
郡山市	柴宮	集合住宅 57号棟	優先住宅	2LDK	2	
			一般住宅	3LDK	4	3
		集合住宅 58・59号棟	優先住宅	2LDK	1	

次ページへ続きます

所在地	団地名	住戸形態	住宅種別	間取り	募集戸数	応募数
郡山市	富田	集合住宅 1～3号棟	優先住宅	2LDK	2	
			一般住宅	3LDK	13	8
		集合住宅4号棟	一般住宅	2LDK	1	1
			一般住宅	3LDK	1	1
	日和田	集合住宅	優先住宅	2LDK	1	1
			一般住宅	3LDK	1	2
	八山田	集合住宅	優先住宅	2LDK	2	
			一般住宅	3LDK	9	2
	東原	集合住宅	優先住宅	2LDK	5	
			一般住宅	3LDK	1	
	安積	集合住宅	優先住宅	2LDK	1	1
一般住宅			2LDK	4	7	
			3LDK	2	4	
鶴見坦	集合住宅	一般住宅	2LDK	2	4	
守山駅西 (ペット可)	2戸1棟(平屋) 2戸1棟(2階建)	一般住宅	2LDK	4	1	
		一般住宅	3LDK	7	6	
田村市	石崎北 (ペット可)	2戸1棟(平屋)	一般住宅	2LDK	1	2
	石崎南 (ペット可)	2戸1棟(2階建)	一般住宅	3LDK	2	
三春町	平沢 (ペット可)	戸建て(平屋)	一般住宅	2LDK	3	6
		戸建て(2階建)	一般住宅	3LDK	5	1
会津若松市	古川町	集合住宅	一般住宅	3LDK	4	
	年貢町	集合住宅	一般住宅	3LDK	3	1
		集合住宅 (メゾネット)	一般住宅	2LDK	1	1
南相馬市	北原	集合住宅	優先住宅	2LDK	6	2
			一般住宅	2LDK	1	2
				3LDK	9	4
	上町	集合住宅	優先住宅	2LDK	3	2
			一般住宅	3LDK	2	2
				2LDK	6	3
	3LDK	10	3			
		南町	集合住宅	一般住宅	2LDK	2
	3LDK			11	3	
	牛越	集合住宅	優先住宅	3LDK	11	1
一般住宅			2LDK	7	2	
			3LDK	44	1	
いわき市	湯長谷	集合住宅	一般住宅	3LDK	6	
	下神白	集合住宅	優先住宅	2LDK	4	
			一般住宅	3LDK	4	
				2LDK	19	2
	3LDK	18				
		高萩 (ペット可)	2戸1棟(平屋)	優先住宅(車いす対応)	2LDK	1
	戸建(平屋) または 2戸1棟(平屋)		一般住宅	2LDK	2	
戸建(2階建) または 2戸1棟(2階建)	一般住宅		3LDK	4	1	

次ページへ続きます 

所在地	団地名	住戸形態	住宅種別	間取り	募集戸数	応募数
いわき市	宮沢	集合住宅	優先住宅	2LDK	2	
			一般住宅	3LDK	2	
			一般住宅	2LDK	3	1
	大原	集合住宅	優先住宅	2LDK	1	
			一般住宅	2LDK	3	1
			一般住宅	3LDK	3	2
	中原 (ペット可)	集合住宅 1～3号棟	優先住宅	2LDK	1	
	中原	集合住宅 4～7号棟	優先住宅	3LDK	4	
			優先住宅	2LDK	5	
			一般住宅	3LDK	12	
			一般住宅	2LDK	1	
	平赤井	集合住宅	一般住宅	3LDK	15	
			優先住宅	2LDK	3	
			優先住宅(車いす対応)	3LDK	9	
			一般住宅	3LDK	2	
	関船	集合住宅	一般住宅	2LDK	1	1
一般住宅			3LDK	3		
優先住宅(車いす対応)			3LDK	1		
四ツ倉	集合住宅	一般住宅	3LDK	1		
		一般住宅	2LDK	1		
四ツ倉	集合住宅	一般住宅	3LDK	3	1	
		一般住宅	2LDK	1		
いわき市	下矢田	集合住宅	優先住宅	2LDK	1	
	北好間 (ペット可)	集合住宅 1～3・5・6 号棟	優先住宅	2LDK	9	
			一般住宅	2LDK	1	2
	北好間	集合住宅 4・7～16 号棟	優先住宅	2LDK	7	
			優先住宅	3LDK	5	
			優先住宅(車いす対応)	3LDK	1	
			一般住宅	2LDK	4	3
	泉本谷	集合住宅	一般住宅	3LDK	2	3
			優先住宅	2LDK	20	
			優先住宅	3LDK	19	1
			優先住宅(車いす対応)	3LDK	5	1
	勿来酒井	集合住宅 2～4号棟	一般住宅	2LDK	10	3
			一般住宅	3LDK	37	4
			優先住宅	2LDK	4	
			優先住宅	3LDK	4	
	勿来酒井 (ペット可)	戸建て(2階建)	優先住宅(車いす対応)	3LDK	1	
一般住宅			2LDK	2		
一般住宅			3LDK	21	1	
磐崎	集合住宅 (木造長屋) 5・6号棟	優先住宅	2LDK	6		
		優先住宅	2LDK	5		
		優先住宅	3LDK	8		
		優先住宅(車いす対応)	3LDK	1		
		一般住宅	2LDK	5		
磐崎	集合住宅	一般住宅	3LDK	12	3	
		一般住宅	3LDK	12		

東日本大震災に伴い本県に避難されている 世帯の現状と今後の意向をとりまとめました

県では、本県に避難している世帯を対象に、避難生活の現状と今後の意向について調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

1 調査の概要

- (1) 調査目的 避難生活の状況を把握するとともに、今後の支援策に生かすため
- (2) 調査期間 平成30年9月4日～平成30年10月25日
- (3) 調査方法 郵送によるアンケート調査（悉皆調査）
- (4) 調査対象者 本県に避難している世帯
- (5) 回答数 451世帯（回答率48.4%）
 - ・避難指示区域内……219世帯(55.4%)
 - ・避難指示区域外……224世帯(44.5%)
 - ・宮城県・茨城県・岩手県……8世帯(23.5%)

2 調査結果のポイント

(1) 今後の生活拠点

前回（平成28年度）と比べ、「①(いずれは)避難元に戻る」が15ポイント減少、「②新潟県に定住する」が4ポイント増加、「③避難元県・新潟県以外に移住する」が1ポイント増加、「④未定」が9ポイント増加した。

その理由としては、避難生活の長期化などにより新潟県への定住を望む世帯が増加していること、また、避難指示区域外からの避難者では、前回「(いずれは)避難元に戻る」としていた世帯が、子どもの新潟県内での就学などにより、「未定」に転じたものが一定数あるものとみられる。

回答内容	平成30年(今回)	平成28年	平成27年
①(いずれは)避難元に戻って生活する	28% (125世帯) 区域内30% (65世帯) 区域外26% (58世帯)	43% (269世帯) 区域内33% (76世帯) 区域外50% (193世帯)	38% (317世帯) 区域内41% (119世帯) 区域外37% (194世帯)
②このまま新潟県に定住する	42% (191世帯) 区域内44% (97世帯) 区域外40% (89世帯)	38% (239世帯) 区域内32% (75世帯) 区域外40% (156世帯)	26% (211世帯) 区域内21% (60世帯) 区域外27% (142世帯)
③(いずれは)避難元県・新潟県以外に移住する	5% (21世帯) 区域内6% (12世帯) 区域外4% (9世帯)	4% (26世帯) 区域内4% (10世帯) 区域外4% (15世帯)	5% (38世帯) 区域内7% (22世帯) 区域外3% (16世帯)
④生活拠点をどうするか未定	24% (108世帯) 区域内20% (44世帯) 区域外28% (63世帯)	15% (95世帯) 区域内30% (71世帯) 区域外6% (23世帯)	31% (260世帯) 区域内31% (90世帯) 区域外33% (170世帯)

※区域内・区域外その他、宮城県、岩手県、茨城県からの避難世帯がある。

次ページへ続きます 

(2) 平成31年4月以降の住居

①避難指示区域内

現在の住居は「自宅（購入を含む）、親戚・知人宅」が41%と最も多く、次いで「応急仮設住宅（借上げ住宅・公営住宅を含む無償提供）」が40%となっている。平成31年4月以降の住居は、南相馬市小高区からの避難者への応急仮設住宅の提供終了などにより、「民間賃貸住宅（福島県の家賃補助無し）」が24%と9ポイント増加している。

②避難指示区域外

現在の住居は「民間賃貸住宅（福島県の家賃補助有り）」が49%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅（福島県の家賃補助無し）」と「自宅（購入を含む）、親戚・知人宅」がそれぞれ20%となっている。平成31年4月以降の住居は福島県の家賃補助が終了することにより、「民間賃貸住宅（福島県の家賃補助無し）」が50%と最も多く、次いで「自宅（購入を含む）、親戚・知人宅」が24%、「選択が難しい」が13%となっている。

(単位：世帯)

種別	福 島 県			
	区域内 (n=219)		区域外 (n=224)	
	現在	平成31年4月以降	現在	平成31年4月以降
応急仮設住宅 (借上げ住宅・公営住宅を含む無償提供)	87(40%)	30(14%)		
民間賃貸住宅 (福島県の家賃補助有り)			111(49%)	
民間賃貸住宅 (福島県の家賃補助無し)	32(15%)	53(24%)	44(20%)	112(50%)
公営住宅	1(0%)	1(0%)	17(8%)	15(7%)
自宅(購入を含む)、親戚・知人宅	91(41%)	94(43%)	44(20%)	54(24%)
福島県へ帰還		7(3%)		4(2%)
他県へ移転		2(1%)		
選択が難しい		13(6%)		30(13%)
未回答	8(4%)	19(9%)	8(3%)	9(4%)

(3) 困りごと、不安なこと（自由記述）

①避難指示区域内

「健康（病気を抱えている、放射能の影響への不安）」に関するものが最も多く、次いで「先行き不透明で将来不安」、「生活費の負担が重い」、「家族離ればなれの生活、孤立、頼れる人がいない」となっている。

区域内：回答内容	平成30年(今回)	平成28年	平成27年
健康 (病気を抱えている、放射能の影響への不安)	5%(11世帯)	3%	5%
先行き不透明で将来不安	4%(8世帯)	3%	6%
生活費の負担が重い	3%(6世帯)	1%	4%
家族離ればなれの生活、孤立、頼れる人がいない	3%(6世帯)	3%	1%

次ページへ続きます 

②避難指示区域外

「生活費の負担が重い」に関するものが最も多く、次いで「民間賃貸住宅家賃補助終了」、
「健康（病気を抱えている、放射能の影響への不安）」となっている。

区域外：回答内容	平成30年(今回)	平成28年	平成27年
生活費の負担が重い	18%(40世帯)	7%	7%
民間賃貸住宅家賃補助終了	11%(25世帯)	-	-
健康 (病気を抱えている、放射能の影響への不安)	6%(14世帯)	3%	3%

(4) 行政への意見・要望(自由記述)

①避難指示区域内

「避難者への支援の継続」が最も多く、次いで「借上げ住宅の期間延長」、「情報提供（支援情報、避難元の情報提供）」、「就職支援・斡旋」となっている。

区域内：回答内容	平成30年(今回)	平成28年	平成27年
避難者への支援の継続	5%(11世帯)	1%	1%
借上げ住宅の期間延長	3%(6世帯)	4%	2%
情報提供（支援情報、避難元の情報提供）	1%(3世帯)	1%	0%
就職支援・斡旋	1%(3世帯)	0%	1%

② 避難指示区域外

「民間賃貸住宅家賃補助の継続」が最も多く、次いで「避難者への支援の継続」、「高速道路の無料措置の延長」となっている。

区域外：回答内容	平成30年(今回)	平成28年	平成27年
民間賃貸住宅家賃補助の継続	13%(29世帯)	-	-
避難者への支援の継続	12%(26世帯)	2%	2%
高速道路の無料措置の延長	5%(11世帯)	5%	4%

自主避難者への民間賃貸住宅の家賃補助を 平成31年3月末日で終了します

新潟県では、東日本大震災により福島県から自主避難されている方々への応急仮設住宅の提供が平成28年度末で終了した後、引き続き新潟県内の民間賃貸住宅で避難生活を継続する小・中学生がいる世帯に対し、福島県の民間賃貸住宅等家賃補助に上乘せし、月額1万円の家賃補助を実施してきました。

このたび、福島県の民間賃貸住宅等家賃補助が平成31年3月末日で終了することから、新潟県の上乗せ補助についても平成31年3月末日をもって終了します。

なお、新潟県では、家賃補助の対象となっている各世帯のご相談に応じて、公営住宅などへの転居支援など、必要な支援を行ってまいります。

問い合わせ

震災復興支援課 広域支援対策室

TEL 025-282-1732

1月・2月の『ひばり』

日	月	火	水	木	金	土
★版画教室 第2・4水曜日午前10時～正午 ★茶話会&簡単な手芸教室 第1・3・5水曜日午前10時～午後2時 気軽に参加ください。				1/24	25	26
				ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み
27	28	29	30	31	2/1	2
		ひばり休み	茶話会	ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み
3	4	5	6	7	8	9
		ひばり休み	茶話会	ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み

問い合わせ

交流ルーム ひばり
(総合福祉センター内)

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[運営時間] 日・水・金 午前10時～午後2時
月 午前10時～正午

被災自治体 問い合わせ先一覧

市町村名	電話番号	以下の町は役場機能が移転しています。
南相馬市	0244-22-2111	双葉町:双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町2-19-4)
浪江町	0240-34-2111	
双葉町	0246-84-5200	
郡山市	024-924-2491	

三条市に避難している 世帯数と人数(2019.1.23現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	20	48
原町区	4	7
南相馬市 計	24	55
浪江町	3	11
双葉町	1	3
郡山市	4	9
合計	32	78